

令和4年度

高松市美術館協議会資料

美術館美術課

目 次

令和3年度事業報告

1 高松市美術館

(1) 展覧会・貸館	2
(2) 教育普及活動	5
(3) 芸術的催し物	12
(4) 施設の提供	13
(5) 美術資料の収集	13
(6) 美術館ボランティアの活動	14
(7) 高松市美術館サポートショップ事業	15
(8) ブランチギャラリー	15
(9) 臨時休館等	15
(10) ICTの活用	16
(11) キャッシュレス化	16
(12) 自己評価	16

2 高松市塩江美術館

(1) 展覧会	17
(2) 美術講座等	18
(3) その他事業	19
(4) 美術資料の収集	19
(5) 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館	20
(6) 自己評価	20

令和4年度事業計画

1 高松市立美術館運営方針	22
2 高松市美術館	23
3 高松市塩江美術館	27
4 令和4年度予算	30

令和3年度事業報告

令和3年度事業報告

1 高松市美術館

高松市美術館の利用者数 131,348人（開館日数 233日）

(1) 展覧会・貸館

美術館主催展として特別展及び常設展を開催するとともに、貸館として一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリーを美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

◎ 展覧会

開催展数：45展（第39回日本伝統漆芸展・貸館を含む）

開催延日数：526日間

入場者数：71,332人（1日平均 135.6人）

ア 特別展

開催展数：5展 開催日数：134日間（当初の開催日数：193日間）

入場者数：21,667人（1日平均 161.7人）

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
美術館に行こう！ ディック・ブルーナ に学ぶモダン・アートの楽しみ方	4/17(土) ～6/11(金) *臨時休館(23日間) 5/4(火)～5/30(日) *臨時開館(1日間) 6/7(月) *当初の会期 4/17(土)～6/6(日)	26日	10,396	絵本作家でグラフィック・デザイナーのディック・ブルーナ(1927-2017)が生んだミッフィーは、世界中で愛される絵本の主人公。本展ではミッフィーが初めてモダン・アートに触れる絵本の内容に沿って当館の所蔵作品を紹介するとともに、ブルーナが手掛けた膨大な作品や制作スタイルを追体験できるコーナーを通して、彼の追い求めた表現に迫った。
ゆかたと藍の世界展	7/17(土) ～8/6(金) *臨時休館(20日間) 8/7(土)～8/29(日) *当初の会期 7/17(土)～8/29(日)	18日	1,731	古くから日本で広く親しまれてきた藍。そして、その藍染と結びつきが強く現在の私たちにとっても身近な和装であるゆかた。本展では、「ゆかた」と「藍」をキーワードに、ファッションから現代アート作品まで紹介。世代を越えて多種多様に展開していく「藍」の世界を、藍染が用いられた江戸時代の「半臂」や武家のゆかた、両面に精緻な型染めをほどこした長板中形のゆかたの数々、さらに藍と絞りを素材に制作を続ける福本潮子(1945-)の作品など、多彩な作品により構成。

<p>大・タイガー立石展 変幻世界トラ紀行</p>	<p>10/1(金) ～11/3(水・祝)</p> <p>*臨時休館(13日間) 9/18(土)～9/30(木) 10/2(土)～10/3(日) *臨時開館(2日間) 10/25(月)、11/1(月) *当初の会期 9/18(土)～11/3(水・祝)</p>	<p>29日</p>	<p>4,796</p>	<p>タイガー立石(1941-98)は、1960年代に時代のアイコンを多彩に引用した絵画により注目を集め、ナンセンス漫画家としても活躍。70年代はイタリアで漫画からヒントを得た絵画を描く一方、デザイナーや建築家との共作による様々な仕事を手がけ、85年からは日本に戻り98年に57歳という若さで亡くなるまで精力的な活動を続けました。代表作を中心に、ジャンルを縦横無尽に横断しユニークな表現活動を続けたタイガー立石の全体像に迫った。</p>
<p>大阪市立東洋陶磁 美術館所蔵 堀尾幹 雄コレクション 濱田庄司展(企画展 示室)</p> <p>関連展示 中村裕太 丸い柿、 干した柿(一般展示 室)</p>	<p>11/13(土) ～12/19(日)</p>	<p>32日</p>	<p>2,741</p>	<p>陶芸家・濱田庄司(1894-1978)は、イギリスや沖縄などの工芸を吸収しながら自身の作品を展開し、1955年に第1回重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された。また、柳宗悦や河井寛次郎らとともに民藝運動を推進したことで知られる。本展では濱田が栃木県益子に拠点を置いた中期以降の作品を大阪市立東洋陶磁美術館所蔵の堀尾幹雄コレクションにより、日常で使うことを念頭において収集された器の、暮らしとともにある健やかな美しさを紹介。さらに関連展示では、美術家中村裕太が濱田の仕事に焦点を当てた《水平から丸はできるかな?》などを展示。</p>
<p>高松コンテンポラ リーアート・アニュ アルvol.10 ここに境界線はな い。/?</p>	<p>2/11(金・祝) ～3/18(金)</p> <p>*臨時休館(5日間) 3/12(土)～3/13(日)、 3/19(土)～3/21(月・祝) *当初の会期 2/11(金・祝)～ 3/21(月・祝)</p>	<p>29日</p>	<p>2,003</p>	<p>独創性、創造性のある作家を発掘紹介する、年に一度の現代美術のグループ展。今回は、普段は可視化されない「境界線」をテーマに、森栄喜(1976年-)、ユアサエボシ(1983年-)、久保寛子(1987年-)、潘逸舟(1987年-)、ウチダリナ(1990年-)の作品を展示。アーティストトークや、ワークショップ等イベントも開催し、新しい芸術表現を高松から発信。</p>
<p>合計</p>	<p>134日</p>	<p>21,667</p>		

イ 常設展

開催展数：4展 開催日数：219日間（当初の開催日数：289日間）
 入場者数：14,937人（1日平均 68.2人）

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
第1期	4/6(火)～6/20(日) *臨時休館(23日間) 5/4(火)～5/30(日) *臨時開館(1日間) 6/7(月)	44日	6,103	常設1 現代の肖像 常設2 磯井如真の軌跡
第2期	6/26(土)～8/6(金) *臨時休館(44日間) 8/7(土)～9/26(日) *当初の会期 6/26(土)～9/26(日)	36日	1,573	常設1 木村忠太 光の記憶 常設2 工会 デザインの革新
第3期	10/5(火)～12/26(日) *臨時休館(2日間) 10/2(土)～10/3(日) *臨時開館(2日間) 10/25(月)、11/1(月) *当初の会期 10/2(土)～12/26(日)	74日	4,519	常設1 Young-それぞれの初期作品 常設2 アール・デコと讃岐工芸
第4期	1/5(火)～3/27(日) *臨時休館(5日間) 3/12(土)、3/13(日)、 3/19(土)～3/21(月・祝)	65日	2,742	常設1 キュレたま2021企画 現象～移ろう世界～ 常設2 讃岐彫の美 ※3/15(火)～3/27(日)の期間は、常設 展示室1において「第39回日本伝統漆芸 展」を開催。[665人]
合計		219日	14,937	

ウ 貸館

(ア) 一般展示室・企画展示室

開催展数12展 開催日数50日間 入場者数22,736人（1日平均 454.7人）

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
第47回高松市民美術展	4/6(火) ～4/11(日)	6日	1,492	各会の会員の作品
80周年記念創元展香川巡回展	6/15(火) ～6/20(日)	6日	1,128	同会会員の油彩画等の作品
独立美術四国会展	6/29(火) ～7/4(日)	6日	562	同会会員の絵画の作品
第13回一榮会書展	7/2(金) ～7/4(日)	3日	473	同会会員の書の作品
第48回毎日書道学会	12/24(金) ～12/26(日)	3日	786	同会会員の書の作品

第38回香川県高等学校総合文化祭美術・工芸展	1/7(金) ～1/10(日)	4日	753	県内高校生の美術・工芸作品
第38回香川県高等学校総合文化祭書道展	1/7(金) ～1/10(日)	4日	758	県内高校生の書の作品
高松市教育文化祭	1/14(金) ～1/16(日)	3日	5,979	市内小・中学校児童、生徒の作品
香川県小中学校総合文化祭	1/14(金) ～1/16(日)	3日	6,042	県内小・中学校児童、生徒の作品
第29回由源香川書展	1/21(金) ～1/23(日)	3日	898	同会会員の書の作品
第29回由源香川書展 学生の部	1/21(金) ～1/23(日)	3日	1,265	同会学生会員の書の作品
第24回硯友展	3/29(火) ～4/3(日)	6日	2,600	同会会員の書の作品
合計		50日	22,736	

(イ) 市民ギャラリー

開催展数23展 開催日数123日間

入場者数11,992人 (1日平均 97.5人)

(2) 教育普及活動

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やトーク等を開催した。また、子どもから大人まで幅広い世代を対象に各種ワークショップ等を開催した。

ア 記念講演会等

開催日	講師・出演者	内容	参加者数 (人)
4/17(土)	野坂悦子 (翻訳家)	記念講演会「ディック・ブルーナ 文章と絵の奥にあるもの」	40
7/17(土)	福本潮子 (出品作家)	記念講演会「福本潮子、藍の世界を語る」	55
9/26(日) ↓ 10月24日(日) 延期	平野到 (埼玉県立近代美術館学芸員)	タイガー立石のイタリア時代	27
11/13(土)	濱田友緒 ((公財)濱田庄司記念益子参考館館長、濱田窯代表、陶芸家)	記念講演会「濱田窯90年 濱田庄司、晋作、友緒の仕事」	42
12/19(日)	鞍田崇 (明治大学工学部准教授、哲学者)、中村裕太 (出品作家)	記念対談「忘れられた民藝」	39

2/11(祝・金)	ウチダリナ、久保寛子、潘逸舟、ユアサエボシ、森栄喜 (潘のみリモート出演)	出品作家によるアーティスト・トーク	46
2/20(日)	林容子 (一般社団法人アーツアライブ代表理事、尚美学園大学・大学院准教授)	「アート×美術館×認知症：アートリップの概要と効果」 令和3年度「障害者等による文化芸術活動推進事業(文化芸術による共生社会の推進を含む)」の一環として実施。主催：文化庁、一般社団法人アーツアライブ(協力：高松市美術館)	39
参加延べ人数			288

イ アートアドバイザー講座「まぶさび教室」

開催日	講師	テーマ	内容	参加者数(人)
6/12(土)	篠原資明 (当館アートアドバイザー)	シーズン10 「時どきどきアート」	ボッティチェッリ	29
7/3(土)			マティス	42
7/24(土)			ダリ	49
10/10(日)			ミケランジェロ	37
10/16(土)			弥勒菩薩	38
11/13(土)		シーズン11 「未来派ひろがる」	詩とマニフェスト	24
12/4(土)			絵画と彫刻	33
1/8(土)			舞台と音楽	27
2/12(土)			デザイン	24
3/5(土)			写真と映像	27
参加延べ人数				330

ウ ギャラリートーク

(ア) 特別展

※[]は展覧会入場者数と重複

展覧会名	開催日	担当者	参加者数(人)
美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方	4/18(日)	担当学芸員	[42]
ゆかたと藍の世界展	7/18(日)	担当学芸員	[27]
大・タイガー立石展 変幻世界トラ紀行	10/9(土)	担当学芸員	[43]

大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹雄コレクション 濱田庄司展	11/14(日)	担当学芸員	[20]
高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.10—ここに境界線はない。／？	2/12(土)	担当学芸員	[24]
参加延べ人数			[156]

(イ) 常設展

※[]は展覧会入場者数と重複

展覧会名	開催日	担当者	参加者数 (人)
第1期	6/5(土)	担当学芸員	[22]
第2期	9/4(土)	担当学芸員	中止
第3期	11/6(土)	担当学芸員	[15]
第4期	1/8(土)	担当学芸員、キュレたま1名	[23]
参加延べ人数			[60]

エ ワークショップ

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数 (人)
7/22 (木・祝) ～ 7/24(土)	当館学芸員 協力：高松工芸高等学校 校デザイン科2年生	「オリジナル藍色グッズを作ろう！」全4回	小学生以上	3階 講座室	延べ40
7/25(日)	川瀬亜衣(ダンサー・振付家)	オリジナル盆踊りを作ろう！	小学生以上	1階講堂 ほか	11
8/7(土) ↓ 1/16(日) 延期	土居大記(美術家)	土居大記ワークショップ「藍染布をまとってポートレートに挑戦！」	小学生以上	1階エン トランス ホールほ か	6
8/7(土) ↓ 10/31(日) 延期	川瀬亜衣(ダンサー・振付家)	美術館オリジナル盆踊りをおどろう！	小学生以上	1階エン トランス ホール	15
10/24(日)	中野裕介(美術家)	中野裕介／パラモデルワークショップ「青いラインでふしぎな『たかまつ』の絵をかこう」	小学生～大人	1階講堂 ほか	6
2/12(土)	ウチダリナ(アニュアル 展出品作家)	ウチダリナワークショップ「和紙でかたどるカタチ」	小学生以上	3階 講座室	10

2/13(日)	久保寛子(アニュアル展 出品作家)	久保寛子ワークショップ 「ブルーシートで作 ろう!瀬戸内の魚」	小学生以上	1階講堂	9
2/21(月)	林容子(一般社団法人ア ーツアライブ代表理事 /尚美学園大学・大学 院准教授)	「アートリップ」 令和3年度「障害者等 による文化芸術活動推 進事業(文化芸術によ る共生社会の推進を 含む)」の一環として 実施。 主催:文化庁、一般 社団法人アーツア ライブ(協力:高松 市美術館)	認知症の方 、そのご家 族、本プロ グラムに興 味のある方	2階 展示室	10
3/5(土)	小野耕石(第4期常設展 出品作家)	小野耕石ワークショップ 「移植する色柱」	どなたでも	3階 講座室	20
参加延べ人数					127

オ 子どものアトリエ

開催日	講師	テーマ	対象	場所	参加者数 (人)
5/2(日)	上野あづさ (美術家)	かぶって、のせて、つない で、かぶと	3歳～小学2 年生	3階 講座室	8
5/3(月・祝)	田野和明、田 野あいこ(Rom p art tree)	いろいろな素材で絵をつ くろう	5歳～小学6 年生	3階 講座室	9
5/4(火・祝)	田野和明、田 野あいこ(Rom p art tree)	カタチおどるオーナメント づくり	5歳～小学6 年生	3階 講座室	8
10/31(日)	モーリエール 瞳(芸術士)	(芸術士といっしょに美術 館でハロウィン) まほうの くすりをつくりましょ!	3歳～小学2 年生	中2階 ロビー	8
10/31(日)	大岸夏子(芸 術士)	(芸術士といっしょに美術 館でハロウィン) おばけモ ンスター仮面をつくろう!	小学1年～6 年生	中2階 ロビー	9
12/12(日)	当館学芸員	ポップアップ☆クリスマス カードをつくろう!	どなたでも	中2階 こども+	70
12/26(日)	井上正憲、井 上由希子(モ ーネ工房)	モーネ寺子屋 ジグザグ数 字のカレンダー	3歳～小学3 年生	3階 講座室	10
12/26(日)	井上正憲、井 上由希子(モ ーネ工房)	モーネ寺子屋 コラージュ で2022年のカレンダーを 作る	小学1年生 以上	3階 講座室	9
参加延べ人数					131

カ ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、2016年のリニューアルにより中2階に新設された「こども^{プラス} (こどもアートスペース)」において、様々なアートプロ

グラムを開催。下記プログラム参加者数を含め、こども^{プラス}（こどもアートスペース）利用者数は3,271人であった。

毎週木・土曜日12：00～16：00

プログラム内容	参加者数（人）
いろがみワーク／みみmiミッフィー	[2,116]
型染めに挑戦！	[52]
ドット絵に挑戦してみよう！	[10]
ひらひらおばけをつくろう！／クモの巣リースをつくろう！	[52]
オリジナル模様のお皿をつくろう！	[109]
焦がし紙で作品をつくろう！	[121]
参加延べ人数	[2,460]

キ イベント（企画展・公開制作・パフォーマンスなど）

※[]は展覧会入場者数と重複

開催日	出演・講師等	内容	場所	参加者数（人）
4/24(土) ※5/8(土)は中止	高松 本とおはなしの部屋	絵本の読み聞かせ会	2階展示室	[21]
5/1(土)	—	写真撮影会「ミッフィーと一緒に！」	1階エントランスホール	241
4/17(土)～6/11(金)	—	はっけんメッセージ	中2階ロビー	[353]
10/1(金)～12/26(日) ※当初の会期は9/11(土)～11/14(日)	中野裕介／パラモデル	特別企画 中野裕介／パラモデル 個展「まTiGerる読み、いかReた挿し絵」	1階エントランスホール、 図書コーナー、 中2階ロビー、 2階廊下、 ランチギャラリー	14,011
10/23(土)	吉田省念(音楽家)	吉田省念アコースティック・ライブ	1階エントランスホール	86
2/11(金)	森栄喜(出品作家)、 ばばまさみ(音響作家)	森栄喜パフォーマンス 「盗まれた傷たち Stolen Scars」	2階展示室	[60]
参加延べ人数				14,338[434]

ク 出前講座等（館外でのアウトリーチ活動等）

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数（人）
-----	----	----	------	---------

8/17(火)	当館学芸員補	アートで遊ぼう！	カナンそごう児童クラブ	中止
8/20(金)			屋島西コミュニティセンター	中止
9/14(火) ↓ 11/9(火)延期			高松市社会福祉協議会 香南老人介護支援センター	28
1/5(水)			かがわ総合リハビリテーション福祉センター	7
1/23(日)			高松市知的障がい者青年教室「スキップクラブ」	中止
参加延べ人数				35

ケ 美術館学習等

サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続き美術館での学習を希望する小学校を受け入れ（サンクリスタル高松－美術館間の交通費を負担）、展覧会の団体鑑賞や施設見学を行った。6月29日から1月12日まで、参加校：13小学校 延べ人数：896人（引率者を含む）

また、サンクリスタル学習以外の美術館学習は、参加校10校、延べ423人であった。

コ 学校との連携事業

開催日	出席者	内容	開催場所	参加者数 (人)
6/20(日)他	香川県立高松工芸高等学校デザイン科2年生	特別展「ゆかたと藍の世界」関連。ランチギャラリーにて学生による藍の絞り染作品の制作・展示（展示期間：7/10～9/10）の他、ワークショップの補助スタッフとして参加（開催日：7/22・23・24）。	3階講座室・ランチギャラリー等	26
7/8(木)	香川大学教育学部附属高松中学校 1年3組	展覧会担当学芸員及び他職員が、オンラインで、特別展「ゆかたと藍の世界」を紹介した。（各15分程度）	オンライン	35
7/14(水)	香川大学教育学部附属高松中学校 1年1組、1年2組			70
7/15(木)	香川大学教育学部附属高松中学校 2年3組			35
7/16(金)	香川大学教育学部附属高松中学校 2年1組			34
7/21(水)	香小研高松支部 図画工作部会 会員	香小研高松支部図画工作部会の夏季研修として、当館職員による鑑賞ワー	1階講堂	65

		クシヨップの実施と、展覧会の案内を行った。		
3/23(水)	香川大学教育学部附属 坂出中学校 美術部員	展覧会担当学芸員が、オンラインで、第4期常設展「讃岐彫の美」を紹介した。(30分程度)	オンライン	3
参加延べ人数				268

サ 美術館の日

高松市美術館が昭和63年8月6日に開館したことに由来し、平成21年度から8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、観覧料を無料とするほか、美術館で一日有意義に過ごしていただくための各種プログラムを準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館とした期間と重なったことから、令和3年度は中止とした。

シ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等（延べ8人）

博物館実習については、四国大学ほか5大学から博物館実習生6名を受け入れた(8/3～8/8)。また、せとうち観光専門職短期大学「臨地実務実習」として2名を受け入れた(11/4～11/13)。

ス 美術館友の会イベント

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、友の会イベントを全て実施しなかった。

セ 動画配信「おうちでアート」

新たな美術鑑賞の手法として、展覧会作品解説、また簡単な作品作りのほか、講演会や講座「まぶさび教室」などを動画配信した。

※令和2年5月28日より公開

	公開日	配信本数	全番組視聴数合計 (公開月)
4月	4/1～4/30	3	1,131
5月	5/1～5/31	5	1,857
6月	6/1～6/30	4	2,374
7月	7/1～7/31	2	3,577
8月	8/1～8/31	10	4,864
9月	9/1～9/30	1	4,855
10月	10/1～10/31	2	7,182
11月	11/1～11/30	4	1,574

12月	12/1～12/31	2	907
1月	1/1～1/31	1	819
2月	2/1～2/28	0	692
3月	3/1～3/31	1	671
合計		35	30,503

(3) 芸術的催し物

ア ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサートを1階講堂で開催した。

内容	開催日	行事名	監修・出演等	関連する展覧会	入場者数(人)
ミニコンサート	6/5 (土)	みて、きいて、たのしもう PART2	出演：みゅーじっくすぺーす・コモド	美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方	67
	10/9 (土)	タイガー立石とその時代	出演：長岡佐和、小林遼香、原百合子、東はるか他 協力：香川大学	大・タイガー立石展 変幻世界トラ紀行	32
	11/21 (日)	ゆかたdeお箏-J・POPから現代音楽まで-	出演：邦楽アンサンブル煌 香川大学邦楽部竹友会	ゆかたと藍の世界	33
	12/11 (土)	郷愁を誘うホルンの響き	出演：山下咲希(ホルン)、大山まゆみ(ピアノ)	大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹雄コレクション 濱田庄司展	34
	3/5 (土)	これがオンガクカ？現代音楽！	出演：辻村彩(フルート)、藤田哲志(フルート)、若井健司(テノール)、藤田亜子(サクソ)、大山まゆみ(ピアノ)	高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol.10 ここに境界線はない。／？	56
参加延べ人数					222

イ 美術館友の会との共催によるエントランスホール催し

内容	開催日	行事名	主催	入場者数(人)
友の会 ふれあい コンサート	2/5(土)	よんでんアンサンブル 美術館ナイトコンサート	高松市美術館友の会 高松市美術館	48
参加人数				48

(4) 施設の提供

美術館の講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。
また、美術図書コーナーを一般利用者へ開放した。

施設名	利用回数等	利用人数
講堂	30回	1,059人
講座室	345回	4,576人
美術図書コーナー	233日	3,493人
合 計		9,128人

(5) 美術資料の収集

ア 収集の方針

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術として、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代に至る作品を版画で系統的に収集する。

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努める。また、二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集する。

(美術品)

(単位：点)

区分		洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計
令和3年度	購入	3	—	2	—	—	5
	寄贈	2	—	—	—	—	2
合計		5	—	2	—	—	7
累計		806	46	272	573	16	1,713
内訳	購入	654	24	240	395	12	1,325
	寄贈	152	22	32	178	4	388

(図書)

(単位：冊)

区分	購入	寄贈	除籍	計	累計
美術図書	114	198	—	312	32,989
展覧会図録	3	326	—	329	19,735
合計	117	524	—	641	52,724

■新規収蔵作品

区分	種別	作品名（制作年）	作家名
購入	立体(彫刻)	現像（2018）	稲崎栄利子
	平面(映像)	Underground Orchestra（2017）	加藤 翼
	立体(彫刻)	無名（2015）	谷澤紗和子・藤野可織
	平面(油彩)	エブリデー審判デイズ（2020）	松井えり菜
	平面(油彩)	GHQ PORTRAITS（2017）	ユアサエボシ
寄贈	平面(油彩)	今日という今日（2002）	野見山暁治
	平面(油彩)	軍装姿の自画像（2022）	ユアサエボシ
寄託	平面(油彩)	私クロスオーバー！（2019）	松井えり菜
	平面(素描)	深夜帯／イメージスケッチ（2004）	町田久美

(6) 美術館ボランティアの活動

ア 美術館ボランティア

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティアc i v i (シヴィ)を設置し、平成11年度から活動を行っている(令和3年度登録者数15人)。令和3年度は、特別展のギャラリートークや、ワークショップのアシスタントなどの活動を行った。

イ ギャラリートーク

※[]は展覧会入場者数と重複

特別展	担当者	開催回数 (回)	参加者数 (人)
美術館に行こう！ディック・ブルーナ に学ぶモダン・アートの楽しみ方	美術館ボランティア	3	[61]
ゆかたと藍の世界展	美術館ボランティア	4	[72]
大・タイガー立石展 変幻世界トラ紀行	美術館ボランティア	4	[84]
大阪市立東洋陶磁美術館所蔵 堀尾幹 雄コレクション 濱田庄司展	美術館ボランティア	5	[74]
高松コンテンポラリーアート・アニュー アルvol.10 ここに境界線はない。／？	美術館ボランティア	5	[63]
合 計		21	[354]

(7) 高松市美術館サポートショップ事業

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として、美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券（特別展を2割引で鑑賞可）を店舗に提供し、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供するなど、提携事業を実施している。

令和3年度からは、各商店街組合事務所の協力の下、商店街組合加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努めた。

令和3年度の展覧会チラシ、サポートショップ割引券の配布対象店舗（商店街組合加盟店）は約740店舗。サポートショップ加盟店舗（商店街組合非加盟店も含む）は31店舗。

(8) ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ」のショーウィンドーにおいて、高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松市美術館の新しい展示空間「ブランチギャラリー」を令和3年3月13日に開設した。

オープニング展示は、当館所蔵作家である藤浩志の《1億5000万年前から受け継がれる》（2017年）を中心に、作家本人がインスタレーションしたほか、展覧会ポスターや動画により高松市美術館と高松市塩江美術館を紹介した。また、展覧会に連動した企画や文化芸術振興課の事業「アート・シティ高松」で美術家等の展示が行われた。

展覧会名	会期
藤浩志展	3/13(土)～7/9(金)
ゆかたと藍の世界展関連	7/10(土)～9/10(金)
中野裕介／パラモデル個展 「まTiGerる読み、いかReた挿し絵」	9/11(土)～11/28(日)
文化芸術振興課「アート・シティ高松／Loading platform/ at the moment (カミイケタクヤ)」	12/2(木)～1/17(月)
文化芸術振興課「アート・シティ高松／Distance to the flower #花までの距離 (大原希)」	1/27(木)～3/13(日)
錯視ワンダーランド 「ナヅナヅニア」パネル展示	3/15(月)～4/10(日)

(9) 臨時休館等

ア 新型コロナウイルス感染症対策による

- (ア) 臨時休館 令和3年 5月4日(火)～5月30日(日)、
8月7日(土)～9月30日(木)、
10月2日(土)、10月3日(日)、
令和4年 3月12日(土)、3月13日(日)、3月19日(土)～3月21日(月・祝)

※ 代替の開館日：令和3年6月7日(月)、10月25日(月)、11月1日(月)

(イ) 臨時休室

こども^{プラス} (こどもアートスペース) : 上記の他 令和3年6月1日(火)～6月20日(日)、
令和4年1月15日(土)～1月16日(日)

(ウ) 人数制限

こども^{プラス} (こどもアートスペース) : 令和4年1月21日(金)～3月21日(月・祝)
まん延防止期間 15名上限

イ その他の理由による臨時休館

エントランスホールの撤収作業 : 令和3年12月28日(火)

(10) ICTの活用

SNSのフォロワー数 令和4年3月31日現在

Facebook	994人
Twitter	1,052人
YouTube	326人
Instagram	2,727人

(11) キャッシュレス化

市民サービスの向上及び新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年3月1日よりキャッシュレス決済システムを導入した。観覧料や図録代金等の支払の際に、クレジットカードや電子マネーの利用が可能となった。

(12) 自己評価

令和3年度の事業活動や運営についての振り返りを行うため、公益財団法人日本博物館協会の「博物館自己点検システム」による自己評価を行った(令和4年5月)。

【結果】

領域	項目数	高松市 美術館	博物館全 体の平均	美術館 の平均	市立の館 の平均	大規模館 の平均
A. 館長・館の経営責任	15	12	8.0	8.4	7.6	9.6
B. 利用者・市民・地域との関係	14	13	7.5	8.1	7.2	9.1
C. 展示	15	15	8.9	10.4	8.5	10.8
D. 教育普及	14	13	7.5	7.3	7.4	9.7
E. 学芸員・一般職員	10	8	5.9	6.5	5.8	6.9
F. 調査研究	9	7	4.8	4.7	4.5	5.8
G. 資料・コレクション	16	15	8.8	10.5	8.4	9.9
H. 施設・アメニティー	17	17	10.3	11.2	9.5	12.4
合計	110	100	61.7	67.1	58.9	74.2

(大規模館は常勤職員 10人以上)

結果は上記のとおりであり、合計、評価領域毎ともに、全国平均を上回った。

2 高松市塩江美術館

美術館主催事業として企画展及び常設展を開催するとともに、企画展示室・ホールを貸館として個展等の利用に供した。

高松市塩江美術館の利用者数 8,315人 (開館日数 228日)

(1) 展覧会

開催展数 10展 (内訳／企画7展・常設3展)

開催延日数 404日間

入場者延数 8,145人 (1日平均20.2人)

ア 企画展 開催展数：7展 開催日数：191日間 入場者数：4,043人 (1日平均21.2人)

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
1 Swing! Swing!! 大島よしふみ彫刻展	4/6(火) ～5/16(日) *臨時休館(11日間) 5/4～5/16	25日	671	彫刻家大島よしふみが、十数年ぶりに一人のアーティストとしての作品制作に立ち返った個展。これまでの作品紹介に加え、近年新しく制作している「ゆるる作品シリーズ」など15点を紹介。
2 写真で紡ぐ	5/25(火) ～7/4(日) *臨時休館(12日間) 5/25～5/30・6/5・ 6/6・6/12・6/13・ 6/19・6/20	24日	222	1983年から2002年まで塩江町内で開催された国際文化交流による町おこしと芸術との触れ合いを目的とした芸術祭に参加した学生や講師により制作された作品43点を紹介。
3 一線との対峙— 杉本羽衣展	7/13(火) ～8/29(日) *臨時休館(20日間) 8/7～8/29	22日	409	杉本羽衣(香川県在住)は、多摩美術大学大学院を修了しドイツに留学後、香川を拠点に活動している。本展では、キャンバスの白い空間に黒く細い線を細密にバランスよく配置し、生命が宿しているかのようにその存在感を際立たせた作品を紹介。
4 第35回思可牟展 しかむ	9/7(火) ～10/17(日) *臨時休館(23日間) 9/7～9/30・10/2・ 10/3	13日	513	香川県出身の京都市立芸術大学を修了した作家で結成したグループ。個々に作家活動をおこない年に一度、日本画・水彩画・版画・漆芸・陶芸・染色・立体など様々なジャンルの作品を紹介。 ※出品者：後藤健吉、貴志勉、佐伯栄治、貴志博子、栗島孝美、平野年紀、井上(高尾)順子、堀りつ子、矢野康子、大川原誠人、兼若和也、櫻原則子、長谷川隆子、大川原暢人

5	やまぐちせつか 染色家・山口撰華 －存在の確認－	10/26(火) ～12/5(日)	36日	1,169	染色家山口撰華(香川県在住)が、友禅染を用いて身近な野菜、風景や時間をモチーフに制作。前衛的なデザインが施された着物作品を含む28点を紹介。
6	色からきづく	12/14(火) ～1/30(日)	37日	415	当館コレクションの中から色に着目した作品23点を紹介。『色』から着想をえた心の動きを鑑賞者自身に感じてもらう展覧会。
7	LUCA ROMA The spiral －a new journey－	2/11(金・祝) ～3/27(日) *臨時休館(5日間) 3/12・3/13・3/19～ 3/21	34日	644	香川県在住の彫刻家ルカ・ローマは、木や石の自然物を素材とした“自然”が生み出す螺旋模様に着想した作品を制作。高松市芸術士派遣事業に携わり活動。新作とドローイング含めた作品18点を紹介。

イ 常設展(3期) 開催日数:213日間 入場者数:4,102人(1日平均19.3人)

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示。

展覧会名	会期	日数	入場者数(人)	展覧会の内容
※前年度第Ⅲ期 光に魅せられた画家 熊野俊一	4/1(木)～ 4/11(日) *会期は令和3年 12/15(火)から	10日	233	熊野俊一が、欧州の光に魅せられて描く風景画などを当時の資料と共に紹介。
第Ⅰ期 絵肌を見る	4/20(火)～ 8/15(日) *臨時休館(33日間) 5/4～5/30、6/5・6/6・ 6/12・6/13・6/19・ 6/20、8/7～8/15	65日	1,005	作品の画面に独特の質感を作り出す絵肌に着目して、コレクション作品17点を紹介。
第Ⅱ期 版画を楽しむ	8/24(火)～ 12/12(日) *臨時休館(35日間) 8/24～9/30、10/2、10/3	61日	1,776	様々な技法を用いた版画作品26点を紹介
※ 第Ⅲ期 フォトしおのえ	12/21(火)～ 3/31(木) *臨時休館(5日間) 3/12・3/13・3/19～3/21 *会期は令和4年 4/10(日)まで	77日	1,088	「塩江」をテーマに公募した写真作品44点を紹介。

※年度をまたいでの開催(年度別の実績)

(2) 美術講座

企画展に合わせたワークショップや陶芸教室、風鈴づくり教室等を開講した。

ア ワークショップ等

タイトル	開催日	講師	内容	参加者数(人)
コーヒー染めのコースターを作ろう	5/1(土) 午前・午後	山口撰華	コーヒー豆を使ってコースターに染を施して制作。	延べ15

サンドイッチ絵本を作ろう	5/4(火・祝)	相曽晴香	身近にあるものを組み合わせて絵本を制作。	中止
Swing!するアートを作ろう	5/5(水・祝) 午前・午後	大島よしふみ	プラ板に絵を描き、針金を使って立体的に見せる絵画を制作。	中止
アーティスト・レクチャー	7/22(木・祝)	杉本羽衣	企画展出品作家による作品解説	28
アーティスト・レクチャー	11/13(土) 11/23(火)	山口摂華	企画展出品作家による作品解説	(13日)15 (23日)7
友禅染で彩ろう!	11/27(土)	山口摂華	友禅染の染料で布を彩って制作	8
「スパイラルワークショップ -小さな旅-」	3/19(土)	ルカ・ローマ	籐のつるを使った造形作品制作	5
参加延べ人数				78

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容	受講者数
夏の風鈴づくり教室	7/24(土)・25(日)	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使用したオリジナルの風鈴を制作。各日2回。	(24日)19 (25日)20
陶芸教室	10/9・16・23・30、11/6 ・13・20、12/4 (各日土曜日)	田淵 太郎 (陶芸家)	全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。	延べ48
参加延べ人数				87

(3) その他事業

ア 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供した。

イ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

博物館実習生施設見学 6月5日(土) 5人(四国学院大学)

職場体験 3月15日(火)、16日(水)、17日(木) (塩江中学校) 中止

ウ 美術館の日

高松市美術館が昭和63年8月6日に開館したことに由来し、平成21年度から8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、観覧料を無料とするほか、美術館で一日有意義に過ごしていただくための各種プログラムを準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館とした期間と重なったことから、令和3年度は中止とした。

(4) 美術資料の収集

ア 収集の方針

(ア) 香川県にゆかりのある作家の作品

(イ) 塩江に関する資料等

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入・寄贈などにより美術品の収集に努める。

(単位：点)

区 分		洋画等	日本画	彫刻	工芸	書	その他	計
令和3年度 取得作品	購 入	—	—	—	1	—	—	1
	寄 贈	—	—	—	—	—	—	—
累 計		673	7	12	14	119	459	1,284
内 訳	購 入	47	—	6	8	—	1	62
	寄 贈	626	7	6	6	119	458	1,222

※その他(写真、熊野俊一資料、藤澤東峯関連書籍、芸術祭作品)

■新規収蔵作品

区分	種別	作品名 (制作年)	作家名
購入	立体(陶芸)	葉っぱとる子 (2018)	及川みのる

(5) 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館

令和3年5月4日(火)～5月30日(日)

6月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)

8月7日(土)～9月30日(木)、10月2日(土)、3日(日)

令和4年3月12日(土)、3月13日(日)、3月19日(土)、3月20日(日)、3月21日(月・祝)

(6) 自己評価

令和3年度の事業活動や運営についての振り返りを行うため、公益財団法人日本博物館協会の「博物館自己点検システム」による自己評価を行った(令和4年5月)。

【結果】

領 域	項目数	高松市塩江 美術館	博物館全 体の平均	美術館 の平均	市立の館 の平均	小規模館 の平均
A. 館長・館の経営責任	15	12	8.0	8.4	7.6	6.5
B. 利用者・市民・地域との関係	14	12	7.5	8.1	7.2	6.0
C. 展示	15	11	8.9	10.4	8.5	7.3
D. 教育普及	14	11	7.5	7.3	7.4	5.7
E. 学芸員・一般職員	10	8	5.9	6.5	5.8	4.7
F. 調査研究	9	4	4.8	4.7	4.5	3.8
G. 資料・コレクション	16	14	8.8	10.5	8.4	7.8
H. 施設・アメニティー	17	14	10.3	11.2	9.5	8.5
合 計	110	86	61.7	67.1	58.9	50.3

(小規模館は常勤職員 5人未満)

結果は上記のとおりであり、合計では全国平均を上回ったが、「調査研究」領域では、博物館全体、美術館及び市立の館の全国平均を下回った。

令和4年度事業計画

令和4年度事業計画

1 高松市立美術館の運営方針

高松市立美術館運営方針（平成28年4月策定、令和3年4月改定）の中で、高松市立美術館は、「創造都市高松の文化芸術の拠点として、市民に必要とされ、かつ、市民を始め、国内外の人々に親しまれ創造性あふれる美術館」を目指すことを方針としており、「高松市の美術館としての独自性や創造性を生かしつつ効率的な運営」に努めるものとする。

継続する主な取組（H28.4～）

展覧会の充実

- 巡回展 幅広い分野から集客性や先進性等のバランスに配慮
 - 現代アート展 瀬戸内国際芸術祭との連携
新しい世代のアーティストを含めた作家の紹介（アニュアル展）
 - コレクション展 当館コレクションと関連アーティストを組み合わせで紹介
- 今後とも、より魅力的な展覧会の企画に取り組むとともに、積極的な情報発信を行う。

教育普及

- 各講座や市政出前ふれあいトーク等の実施、こどもアートスペース等の活用
- 今後とも、積極的な情報発信を行い、幅広い年齢層の方に美術に親しんでいただく。

美術品の収集・保管

収蔵美術品が、国内外の美術館に貸し出されているとともに、教科書をはじめ各種出版物への掲載依頼があるなど、高い評価を得ている。

今後とも引き続き、取得方針を踏まえた美術品の収集と保管に努め、展覧会において展示を行い、広く市民の方の鑑賞に供していく。

地域、市民ボランティア、友の会、学校等との連携

新たな主な取組（R3.4～）

ICTの活用

- 動画配信 動画配信により、新たな美術品鑑賞等の機会を提供する。
- SNSの活用 フェイスブック、インスタグラム等を活用した、効果的な情報発信を行う。

学校との連携強化

市内の小中学校への展覧会案内に加え、美術館学習やオンライン授業の開催など

エントランスホールの活用

展覧会行事や友の会コンサート等に加え、関係団体等と連携したコンサート等の開催

キャッシュレス化

クレジットカードや電子マネー等を利用したキャッシュレスに対応する観覧料等の納付

2 高松市美術館

内外の優れた美術作品の展覧会の充実、系統的な美術品の収集を進めるとともに、ワークショップや講座等、子どもたちが豊かな感性を育むことができる教育普及事業の充実に取り組んでいく。また、中心商店街に近接した都市型美術館という立地条件を生かし、地域との連携の強化により、まちづくりと一体となった取組を進め、都市機能の向上に寄与する美術館を目指す。

なお、今年度は、瀬戸内国際芸術祭と連携し、参加展覧会の開催や連携事業を実施する。

(1) 展覧会・貸館

ア 特別展

展覧会名	会期	日数	内容
tupera tupera の かおてん.	4/16(土) ～5/29(日) *5/2(月)臨時開館	39日	2人組人気クリエイティブ・ユニット tupera tupera による「顔」をテーマにした展覧会。絵本原画をはじめ、新作映像作品「かおつくリズム」や、さまざまな仕掛けが隠された巨大インスタレーション「かおカオス」、さらに来場者が体を使って顔をつくる「床田愉男」など参加・体験型の作品を展示。大人から子どもまで誰もが楽しめるユニークな展覧会。
みる誕生 鴻池朋子展 *瀬戸内国際芸術祭2022参加展覧会	7/16(土) ～9/4(日) *8/15(月)臨時開館	45日	人間中心だったこれまでの芸術は、今、大きな転換期を迎えています。鴻池は、作品を眼で見るのではなく、手で看(み)る、鼻で診(み)る、耳で視(み)る、そして語り合い声で観(み)て、眠っていた細胞を呼び起こし、生まれたての体で世界と出会う驚きを「みる誕生」と名付けました。また、海を隔てた大島でも展示を行い、生命の波打ち際「インタータイダル・ゾーン(潮間帯)」というトポス/場を出現させます。大島での作品を合わせて鑑賞してほしいです。
高松コンテンポラリーアート・アニュアルvol. 11	10/1(土)～11/6(日)	32日	独創性、創造性のある作家を発掘紹介する、年に一度の現代美術のグループ展。今回は「フラジャイル (fragile= こわれやすい、繊細な)」をテーマに、赤松音呂、諫山元貴、稲崎栄利子、北野謙、本田健による作品をご紹介します。トークやワークショップ等イベントも開催し、新しい芸術表現を高松から発信します。

さくらももこ展	11/12(土) ~12/25(日)	38日	「ちびまる子ちゃん」「コジコジ」「もののかんづめ」など数多くの大ヒット作品で知られ、まんが家、エッセイスト、作詞家、脚本家... と多岐にわたるジャンルで活躍した稀代のアーティスト、さくらももこ（1965-2018）。日常の小さな出来事をいつくしみ、描くことと書くことを楽しみつづけた作家の全魅力を、名場面原画や色彩豊かなカラーイラスト、エッセイ生原稿などと共に、あますことなくお届けします。
高松市美術館コレクション ^{プラス} + 版画の世界(仮)	2/11(土・祝) ~3/21(火・祝)	33日	版画は時代の変化や技術の発達を色濃く映しだしてきた技法です。本展では20世紀の巨匠パブロ・ピカソやアンリ・マティス、アメリカで新しいアートを切り拓いたマルセル・デュシャンやアンディ・ウォーホル、さらに現代アーティストとして活躍を続けるダミアン・ハーストなど高松市美術館の所蔵品を中心に、近代以降の世界の版画を紹介します。
5 展覧会		187日	

イ コレクション展

展覧会名	会期	日数	内容
第1期	4/6(水) ~7/3(日)	78日	展示室1 そっくり！びっくり！現代アート 展示室2 磯井如真の軌跡
第2期	9/8(木) ~11/6(日)	52日	展示室1 [現代の美術] 私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある20世紀以降の世界の美術を順次展示。
第3期	11/9(水) ~12/25(日)	41日	展示室2 [讃岐漆芸と金工] 玉楮象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。
第4期	1/5(木) ~3/26(日)	68日	※3/11~3/26の期間は、常設展示室1において「第40回日本伝統漆芸展」を開催。
4 期		239日	

ウ 貸館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー・講堂を提供する。

(2) 教育普及活動等

ア 主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やミニコンサートなどを開催するほか、教育普及活動を開催するもの。

(ア) 講演会等の開催

(イ) アートアドバイザー講座「まぶさび教室」

アートアドバイザーによる講座を前期・後期で各5回開催する。

(ウ) ギャラリートーク

(エ) ワークショップ

地元講師や県外講師によるワークショップを随時開催する。

(オ) 子どものアトリエ

美術作家による子ども対象の美術講座を開催し、学校の図画工作の授業とはまた違った環境での美術体験を提供する。

(カ) こども^{プラス} (こどもアートスペース)

リニューアルオープンにより新設された「こども^{プラス} (こどもアートスペース)」を活用し、誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラム「ふらっとアート」などを提供する。

イ 施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供するほか、エントランスホールを作品展示やコンサート等に活用する。

ウ 美術館学習

展覧会の鑑賞教育等学校活動分野の積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習及び子ども未来館学習参加校のうち希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

エ 動画配信「おうちでアート」

新たな美術鑑賞の手法として、「おうちでアート」として展覧会作品解説や簡単な作品作りを動画配信する。

(3) 美術館の日【8月6日(土)】

高松市美術館が、昭和63年8月6日に開館したことに由来し、平成21年度から8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、美術館で一日有意義に過ごしていただくことを趣旨に観覧料を無料とするほか、親子で楽しめるイベントなどを実施する。

(4) 美術資料の収集・公開

美術品の取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品の収集に努める。また、美術館の二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集するとともに、高松市収蔵品情報システムの活用等によりこれら収蔵資料の積極的な公開に努める。

(5) 美術館ボランティアの活動

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア c i v i (シヴィ

)によるギャラリートークを実施するとともに、子どものアトリエなどのワークショップの補助を行う。

(6) 高松市美術館サポートショップ事業

高松市中央商店街等周辺店舗と連携し、周辺の活性化及び美術館来館者の増加を目指すことを目的として、美術館は、店舗を利用又は訪問した方々に渡すための割引券（特別展を2割引で鑑賞可）を店舗に提供し、店舗の一部においては、特別展の半券又は有効期間中の定期観覧券を提示することで、商品割引等が受けられる独自特典を提供するなど、提携事業を実施する。

令和3年度から引き続き、各商店街組合事務所の協力の下、商店街組合加盟店舗への展覧会チラシの一斉配布を行い、高松市中央商店街との一層の連携強化に努める。

(7) ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街組合との連携事業として、高松丸亀町商店街の「しごとプラザ」ショーウィンドーに開設中の「ブランチギャラリー」において、年間を通して特別展等と連携するなど多彩な展示を行う。

(8) ICTの活用

令和元年度から実施している美術館独自のSNS（Facebook、Twitter、YouTube、Instagram）の積極的な活用により、効果的な情報発信を行う。

3 高松市塩江美術館

山間の豊かな自然環境に立地する地域特性を生かした、芸術・文化を楽しむ空間作りを目指し、展覧会の充実や地域に根ざした取組を進める。

なお、今年度は、かがわ・山なみ芸術祭2022関連事業の展覧会を開催する。

(1) 展覧会

ア 企画展

展覧会名		会 期	日数	展覧会の内容
1	アーティスト ミズカ WITH	4/9(土) ～5/15(日)	32日	アーティストのミズカ(香川県在住)の県内初の個展。ぼうやシリーズと紙漉きシリーズという二つの異なるスタイルで作品を発表してきたミズカの生み出す空間を“いっしょ”に楽しむ。
2	かがわ・山なみ芸術祭2022 SIONOE 関連事業 「芸術の四国遍路展」	5/21(土) ～6/26(日)	32日	『かがわ・山なみ芸術祭2022 SIONOE』関連事業として、パルコキノシタ氏(美術家)により企画された四国4県での巡回展「芸術の四国遍路展」を開催。四国4県から集まった様々なジャンルのアーティスト12名の作品を紹介。
3	画家 松山真理 繋がる	7/5(火) ～8/28(日)	48日	描くことで自分を生かしてきたと語る画家松山真理の個展。他者と自分そして自然などと「繋がる」をキーワードに約25点の作品を紹介。
4	写真家 脇 秀彦 今を生きている	9/6(火) ～10/23(日)	42日	香川県在住の写真家脇秀彦の個展。写真作品だけでなく動画やインスタレーションを含め「今を生きている」をテーマにした作品を紹介。
5	シ・カ・ク ー四角を視覚せよー	11/3(木・祝) ～12/11(日)	34日	人間はモノを認識する際、光の刺激を受け、視覚を使って対象物を認識する。本展では、所蔵作品の中から四角(形)に着目した作品約25点を紹介し、四角を含め形に特化した作品を鑑賞することで、作品に対する興味を深めることを試みる。
6	コトバがみえる	12/20(火)～ 2/5(日)	37日	所蔵作品の中から、白と黒で織りなす版画と書の作品を紹介。モノクローム作品を鑑賞することで、言葉への傾注を高めるとともに、作品に存在する言葉を視覚化することを通し言葉の重要性を実感するもの。

7	栗原慶 陶展－Pale Clear－	2/14(火) ～3/26(日)	36日	陶芸家栗原慶（徳島県在住）の個展。栗原は自然が織りなす造形の美しさに日々感動し、試行錯誤を重ねて制作をつづけている。瀬戸内の空や波や風といった自然界からインスピレーションを受けた作品約20点を紹介。
---	--------------------	---------------------	-----	---

イ 常設展（3期）

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示する。

展覧会名	会期	日数	展覧会の内容
※前年度第Ⅲ期 フォトしおのえ	4/1(金) ～4/10(日) *会期は令和4年 12/21(火)から	9日	塩江」をテーマに公募した写真作品44点を紹介。
第Ⅰ期 香川の作家シリーズ① 江戸 健／色彩との対話	4/19(火) ～8/14(日)	102日	新制作協会に所属していた江戸健（1927-2017）は、香川で活動して、地域の芸術文化の発展に寄与した。当館収蔵作品と関連資料等の中から生涯色彩を探究し続けて描いた作品を紹介。
第Ⅱ期 香川の作家シリーズ② 小林正六／まなざし	8/23(火) ～11/27(日)	84日	香川県内で子どもたちの美術教育に長年にわたり携わった小林正六（1917-2006）を紹介。収蔵作品の中から独自のマチエールで描かれた作品約20点を紹介。
※第Ⅲ期 香川の作家シリーズ③ 池田利夫／木版画に魅せられて	12/6(火) ～3/31(金) *会期は令和5年 4/9(日)まで	95日	香川県在住の池田利夫が制作した木版画作品の中から「身近な植物」をモチーフに制作して生物学的知識や歴史的背景が盛りこまれた作品を紹介。

※年度をまたいで開催(日数区切り)

(2) 美術講座

企画展に合わせたワークショップや陶芸教室、風鈴づくり教室等を開講する。

ア ワークショップ等

タイトル	開催日	講師	内容
アーティスト レクチャー	4/29(金・祝)	ミズカ	企画展出品作家による作品解説
企画展関連WS 色を楽しもう！	5/3(火・祝)	ミズカ	色を楽しむワークショップ。
ライブペインティング	7/9(土)	松山真理	音楽に合わせて即興で絵画を制作。
アーティスト レクチャー	8/13(土)	松山真理	企画展出品作家による作品解説
アーティスト レクチャー	9/23(金・祝) 10/10(月・祝)	脇秀彦	企画展出品作家による作品解説

キュレーターズトーク	11/12(土) 12/3(土)	担当学芸員	担当学芸員による作品解説
キュレーターズトーク	12/24(土) 1/21(土)	担当学芸員	担当学芸員による作品解説
アーティスト レクチャー	2/23(木・祝)	栗原慶	企画展出品作家による作品解説
企画展関連WS	3/11(土) 3/18(土)	栗原慶	形と色に焦点をあてた作品を制作するワークショップ。

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容
夏の風鈴づくり教室	7/23(土) 7/24(日)	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使用したオリジナルの風鈴を制作。各日2回。
陶芸教室	9/10・9/17・ 9/24・10/1・ 10/9・10/15・ 10/22・11/5 (各日土曜日)	田淵 太郎 (陶芸家)	全8回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。

ウ 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催。

(3) その他事業

ア 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供する。

場所	行事名	会 期
企画展示室	及川みのる	10/25(火)～10/30(日)

イ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

ウ 美術館の日 【8月6日(土)】

高松市美術館が、昭和63年8月6日に開館したことに由来し、平成21年度から8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、美術館で一日有意義に過ごしていただくことを趣旨に観覧料を無料とするほか、親子で楽しめるイベントなどを実施する。

エ 公有財産目的外使用（貸出）

喫茶室の営業開始、美術館のデッキ等の貸出

4 令和4年度予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区分			令和4年度	令和3年度	対前年比
使用料及び 手数料	使用料	美術館展覧会等観覧料	34,320	31,249	109.8%
		美術館使用料	14,129	14,100	100.2%
	手数料	美術品等撮影許可手数料	28	28	100.0%
財産収入	財産運用収入	基金運用収入	3	3	100.0%
	財産売払収入	物品売払収入	1,833	1,373	133.5%
繰入金	基金繰入金	塩江美術館美術品等取得基金繰入金	0	650	—
諸収入	雑入	社会教育費収入	15,592	16,871	92.4%
計			65,905	64,274	102.5%

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	対前年比
美術館運営費	37,930	37,767	100.4%
美術館管理費	121,047	114,426	105.8%
展覧会費	67,894	66,139	102.4%
美術教育普及費	1,529	1,561	98.0%
美術資料収集費	11,611	12,261	94.7%
塩江美術館美術品等取得基金積立金	3	3	100.0%
計	240,014	232,157	103.4%